



サラワクからの 輸入木材の問題



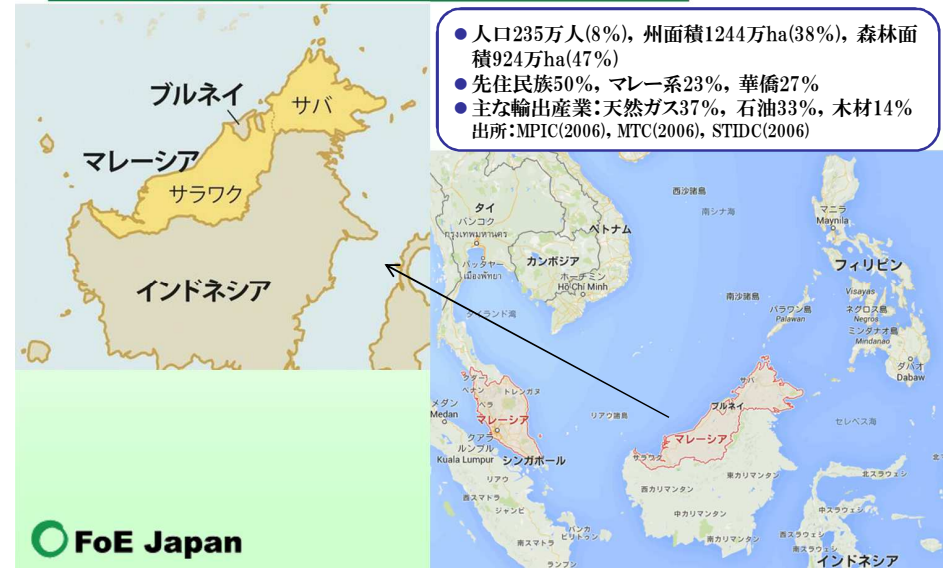
国際環境NGO FoE Japan
 (Friends of the Earth Japan)

三柴 淳一



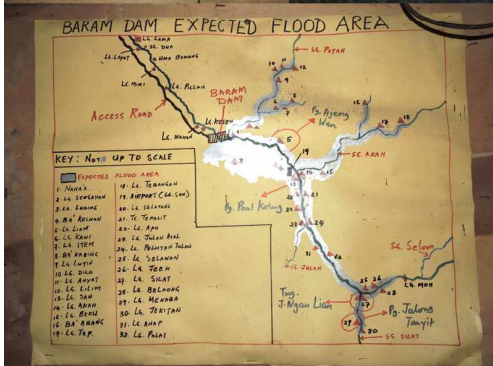
FoE Japan

マレーシア・サラワク州



FoE Japan

ダム開発



アブラヤシ農園開発



人工林(アカシア)開発



伐採(皆伐)&その後



伐採(皆伐)→集積場→(仕分け)→搬出(タグあり、合板・製材等)→搬出(タグなし)→チップ工場→(MDF工場等)

日本とサラワク州との関係(1)

- ◆ 日本はサラワク産木材の最大の顧客
- ◆ サラワク産合板の約50%は日本へ

	第1位	第2位	第3位
取引金額(RM)	日本 (32.53%)	インド (16.11%)	台湾 (10.44%)
丸太	インド (60%)	中国 (13%)	日本 (9%)
製材	タイ (27%)	台湾 (11%)	フィリピン (8%)
合板	日本 (48%)	韓国 (15%)	中東 (11%)
繊維板(MDF)	日本 (75%)	インドネシア (9%)	半島マレーシア (5%)

出所: STIDC(2011)

日本とサラワク州との関係(2)

- ◆ 輸入合板の多くは熱帯材。43%がマレーシア(主にサラワク材)
- ◆ サラワク材の多くはコンクリート型枠とフローリングの基材に

		単位: m3							集成材、BB等
国名等	普通合板計	3mm未満	3~6mm	6~12mm	12~24mm	24mm超	特殊		
輸入量*	マレーシア	1,557,733	32,479	89,602	1,022,821	82,870	8,376	263,786	57,799
	インドネシア	1,128,432	162,761	147,576	580,751	30,261	3,478	112,112	91,493
	中国	880,239	1,810	26,677	268,160	53,610	20,308	11,572	498,102
生産量**	国産合板(針葉樹)	2,198,000	0	21,000	232,000	1,945,000	-	-	-
	国産合板(針葉樹以外)	288,000	26,000	69,000	56,000	137,000	-	-	-

出所: *貿易統計, **木材需給報告書(2011)

マレーシア・サラワク州(合板)

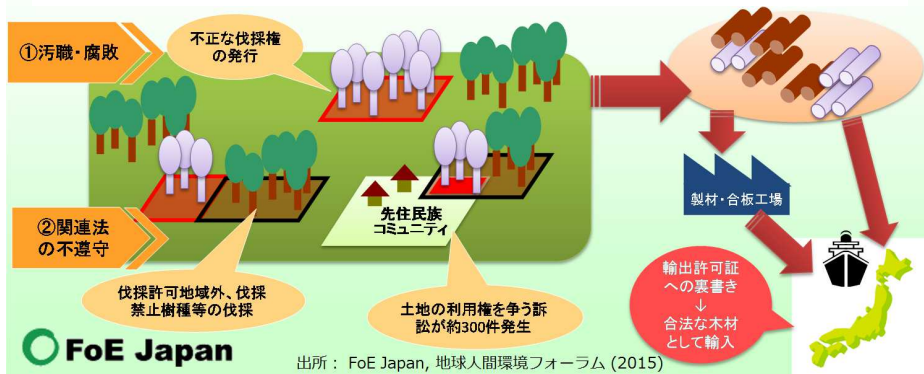
政府発行の合法性証明では、違法木材の輸入を排除できない理由:

① 汚職や癒着による不正な証明書等の発行

-企業から議員や地元有力者、政府高官等への広範な賄賂が報告され、汚職や癒着による不正な伐採権の発行や、伐採・操業の不十分なモニタリングが行われている。

② 合法性証明が関連する法の遵守を担保していない

-伐採事業計画の策定や許認可手続き時に先住民族の権利を無視。政府の伐採権などの発行を巡り、土地の利用権を争う訴訟が約300件以上。



マレーシア・サバ州、低負荷伐採の様子

林区27
(2007年伐採前)

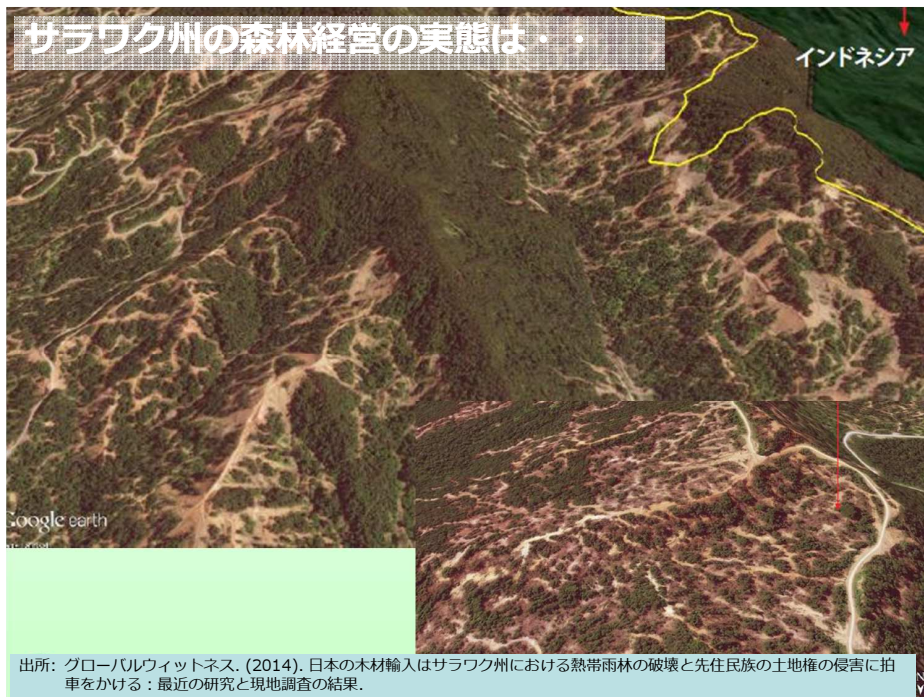
林区33
(2002年伐採)

本来の“持続可能な森林経営”とは・・・

Source: Sabah Forestry Department

サラワク州の森林経営の実態は・・・

インドネシア



マレーシア・サラワク州、急斜面の作業道敷設 (2014年11月, (c)FoE Japan)



問題のまとめ

◆ 熱帯林消滅の危機

- アブラヤシ農園面積は右肩上がり増加
- 既存の森林はほぼ生産対象。伐採→劣化のプロセスを踏み、末路は農園に転換

◆ 深刻な汚職・腐敗の蔓延、脆弱なガバナンス

- 各種事業に関連する違法性、経営の非持続可能性は顕著。その“リスク”払拭は非常に困難
- サラワク州においては「第三者検証」や「認証」についても、より慎重に取り扱う必要あり

◆ 先住慣習権を巡る論争

- 土地権問題は訴訟が約300件、訴訟に持ち込めていない事例を含めば無数に。司法の判断をサラワク州政府は無視

